



[トップ](#) [暮らしの情報](#) [文化・スポーツ](#) [生涯学習・社会教育](#)

ひので映画大使最新版

[2019年2月20日]

第101回映画大使「メリー・ポピンズ リターンズ」

- ・ 期日 平成31年2月5日(火曜日) ※公開1週目
- ・ 場所 イオンシネマ日の出

作品紹介

実写とアニメーションを合成したユニークな映像などが評価され、第37回アカデミー賞で5部門を受賞した1964年公開の名作『メリー・ポピンズ』の続編を、『シカゴ』などの大ヒット映画のほか、舞台演出家・振付師としても活躍するロブ・マーシャルが監督を務めたファンタジー。

主人公のメリー・ポピンズを『ブラダを着た悪魔』のエミリー・ブラントが演じる。その他にも、『キングスマン』のコリン・ファース、『マンマ・ミーア!』のメルル・ストリープ、『007 スペクター』のベン・ウィショーなどの豪華キャストが集結しており、前作でメリーの親友バートを演じたディック・バン・ダイクも出演している。

前作から20年後の大恐慌時代のロンドンを舞台に、3人の子どもの父親となったかつてわんぱくな少年だったバンクスの長男マイケルの前に、「ほぼ完璧な魔法使い」のメリー・ポピンズが以前と変わらぬ姿で現れ、子育てと借金問題に苦しむバンクスの窮地を救うさまを、実写とアニメを融合した映像と華麗なミュージカル・ナンバーとともに描き出す。

『メリー・ポピンズ リターンズ』の日本語版声優は、メリー・ポピンズ役に平原綾香、マイケル役に谷原章介などが担当した。



(C)2018 Disney Enterprises, Inc. All Rights Reserved

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

映画大使の「第一声！」

- ★生で舞台を観ているような気持ちになり、入り込みました！
- ★とても素敵な作品でした！
- ★良い作品だなと思いますね！
- ★心を落ち着ける作品でした！
- ★凄く楽しくて、観た後に自分の心も上がっていくような軽くなる感じがしましたね！
- ★字幕版も観てみたいと思いましたね！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

作品を観終わってほっこりとした感覚が残っています。メリー・ポピンズ役の方が、とても綺麗でみとれていましたね。

終わりの方のシーンで、高い所を下から見上げるシーンがあり、そこに登るのですが、どのように登るのか、その時の問題をどのように切り抜けるのかハラハラして観ていましたし、問題の切り抜け方も凄い事を考えるなと思いましたね。

前半で出てきたちょっとしたものや事が、後半でカギを握っていて、いろいろな所で、前の事が後に繋がっていて、とても素敵な作品でした。

Bさん

良い作品だなと思います。なかなかミュージカルで観る機会がなくて、本日観る事ができて良かったと思っています。

ミュージカルは何回か観た事がありまして、昔のミュージカルの「パリのアメリカ」と似た場面があるなと思いましたね。あとは、昔のハリウッド作品『ザッツ・エンターテインメント』の事も思い出しながら観ていました。

宮崎駿さんも空を飛ぶシーンを描きますが、空を飛ぶシーンはいいなと思いましたね。

この作品の前作は、1964年の作品ですので、東京オリンピックの年ですよ。たまたま東京オリンピックが近いですが、その周期で制作されたのかなと思いつつ観ていました。前の作品では、ジュリー・アンドリュースさんが出演していたと思いますが、確か『サウンド・オブ・ミュージック』が公開された頃でもあると思います。

良い作品は好きな方がいるので、もう一度作られるのかなという事を、凄く感じましたね。

私は歌舞伎が好きで、よく観るのですが、市川猿之助さんの歌舞伎で宙乗りをされていて、最後にスーと宙乗りであがってくるシーンを、この作品とオーバーラップして観ていましたね。歌舞伎も海外の方からみますとミュージカルだと思いますので、そういう部分で似ているところがあるのかなと思いつつ観ていました。

Cさん

私の家では、子どもにディズニーの作品をいろいろと観させて育てたのですが、今は、ダンボも実写版が作られています、子どもが観ていたのはアニメ作品でした。この作品を今日観ると話をしたら「いいな」と言っていましたし、私たちに『メリー・ポピンズ』を観させてくれなかったよね、と言っていましたね。それは、私があまりミュージカルを好きではなかったからなのですが、この作品は映画を観ている事を忘れるくらい、まるで生で舞台を観ているような気持ちになり入り込めて、歌もとても良い歌詞で、歌の歌詞に励まされて、最後の方には顔がニコニコして、幸せな気分になりました。

従姉役の方が、『マンマ・ミーア！』に出演されているので、歌える人なのかなと思いましたね。今回観たのは、吹替え版でしたので、吹替え版も良かったのですが、実際に出演された方たちの歌も聴いてみたいなと思いました。

Dさん

ディズニーの作品を観るのは初めてでしたが、全体的に美しいと思いました。

私は民謡を歌っているのですが、歌が心に響くような感じがしましたね。そのような状況でしたので、私は物語として観たのではなく、全体的にのちのちの讃歌や、生きている喜びのようなとらえ方をしました。

心を落ち着ける作品でしたね。

Eさん

私は、昔の『メリー・ポピンズ』を50年数年前に観たのですが、その時には、ジュリー・アンドリュースさんが出演されていて、この作品とはかなり違っていました。今回のように華やかではなく、普通な感じだった気がしますね。メリー・ポピンズと、えんとつ掃除の方が印象に残っていますね。その時は吹替え版ではなくて、字幕版でして、歌詞とかは覚えていませんが、メロディーが耳に残っています。

今回の作品は、動物などが出てきて、実写とアニメーションが融合されていて、とてもディズニーらしいなと思いました。そのような場面は、とても楽しいなとも思いましたね。

最後のシーンは、凄く気持ちが明るくなってよかったですね。私もあのようにしてみたいなと思いました。

とても楽しい作品で良かったと思いますね。

Fさん

この作品は、ミュージカルをどこかの舞台上で観ているような映像で、どのようになってゆくのかとワクワクする場面がありましたね。子どもが3人出てくるのですが、その中で、どうしても末っ子はいたずらっこだという事は、どの作品を観ても同じイメージがありまして、この作品も同じでその点も凄く楽しかったです。

メルル・ストリープさんが、どんな役で出てくるのかなと思っていました。出演されたシーンでは、歌は歌っているし、年齢のわりに動けているし、やはり良い女優なのだなと思って、主役ではありませんでしたが、私にとっては印象的でしたね。

言葉一つ一つが人生を語っていて、そのような気持ちにならないといけないのだなと、しみじみと感じました。

最後の平原綾香さんの歌声も、歌の歌詞も良かったと思います。

Gさん

この作品は、『メリー・ポピンズ リターンズ』という事で、『メリー・ポピンズ』の続編ですので、どうしても前作と比べてしまいますね。

メルル・ストリープさんが出てきたシーンから、楽しさが倍増した感じで、凄く楽しめました。

歌の内容が胸を打ちまして、「あ、そうなんだ」と思う事が幸せにつながるし、生き方にもつながるのだなとも思いましたね。

凄く楽しくて、観た後に自分の心も上がっていくような軽くなる感じがして、とてもいい作品だと思いました。

Hさん

音楽が美しく、いろいろがあって心が豊かになる、本当にいい作品でした。

この作品の中で、メリー・ポピンズが言った言葉が、子どもたちを非常に豊かにさせ、先に進ませるような暖かみのある作品だなと思いましたね。

音楽が美しく、本当にいい曲で、心に沁みました。

今回観たのは吹替え版でしたが、子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで本当によくあった声優さんを探したなと思いましたね。セリフや歌詞だけでなく音楽も作り変えていますので、日本語吹替えをされた方々も大変だっただろうなと思いました。

字幕版で観るとまた違った感じになるかなと思いますね。字幕版も観てみたいと思いました。

作品の内容(印象に残ったシーンなど)

・昔は、セリフだけ吹替えで、歌はオリジナルに変わっていましたが、最近は完全なのだなと思いましたね。

・ディズニーは、吹替えも完璧にしますね。やはり凄いですね。

・いろいろな所をこだわって作っていますね。

・昔のイギリスの街並みがいいですね。

・幸せのあり方を描いていましたね。

・いろいろと細かい所も考えて作られているなと思いましたね。

・メッセージ性の強い、メッセージの多い作品でしたね。

・踊りも素晴らしかったですね。

まとめ

この作品は、前作がアカデミー賞13部門にノミネートし、5部門で受賞した作品であり、約半世紀ぶりの続編だけあっていろいろな面で前作を意識しながらも、今の技術も取り入れ、細部にわたって綿密に作られたように感じます。

メッセージ性が強く、伏線も多くあり、楽しさの中にも、心に響く作品になっています。

大使の方からも話があったように、まるで生の舞台を観ているような気持になる作品でもあります。

今回は吹替え版を観ましたが、字幕版もありますので一つの作品で2回楽しめる作品でもあると思います。伏線も多い作品なので、何度か観る事によって気が付く新しい発見も期待でき、何度観ても楽しめ、心に残る作品であると感じました。

大画面で観る事によるラストシーンの効果は大きいと感じる作品でもあると思います。

映画は是非、劇場の大スクリーンでご覧ください！

映画大使では、年代も性別も違う方達が、それぞれ意見を出し合いひとつの映画について話し合うという、日ごろできない経験をすることが出来ます。映画を観て自分がこう思っただけではなく、年齢や経験などの違う人の目線で観たことを聞くことにより、違った発見があるので、ひとつの映画が何倍にも広がって行きます。

今後も「ひので映画大使」にご期待ください！！

関連ページ

- [これまでのひので映画大使](#)
- [ひので映画大使のトップに戻る](#)

ご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

送信

お問い合わせ

東京都 日の出町 文化スポーツ課 社会教育係
電話: 042-597-0511(内線541) ファクス: 042-597-6698

ひので映画大使最新版への別ルート

[トップ](#) [新着情報](#)